第15号 コセン・ほっとライン 倶楽部通信

豆知識シリーズ 社名の由来

近年建設業者のコンプライアンスの不履行によりエコロジー国民の皆様より突きつけられた方針転換を迫られ、大きな時代の流れを受け、建設業界の代表する建設会社を目指すべく環境は日々厳しくなりますが、初心を忘れずに努力を続けたいものです。

この偶然の出会いがきっかけとなりました。

アメリカ、イギリスの政府高官、倉橋博文氏を伊藤喜八郎氏を招聘し、大手ゼネコンの期待を自費で旅行させました。

明治五年に創業した当時は、建設業は崇高な国土整備に創意工夫を凝らし、技術を駆使して困難な工事を成し遂げる役割を担っていました。

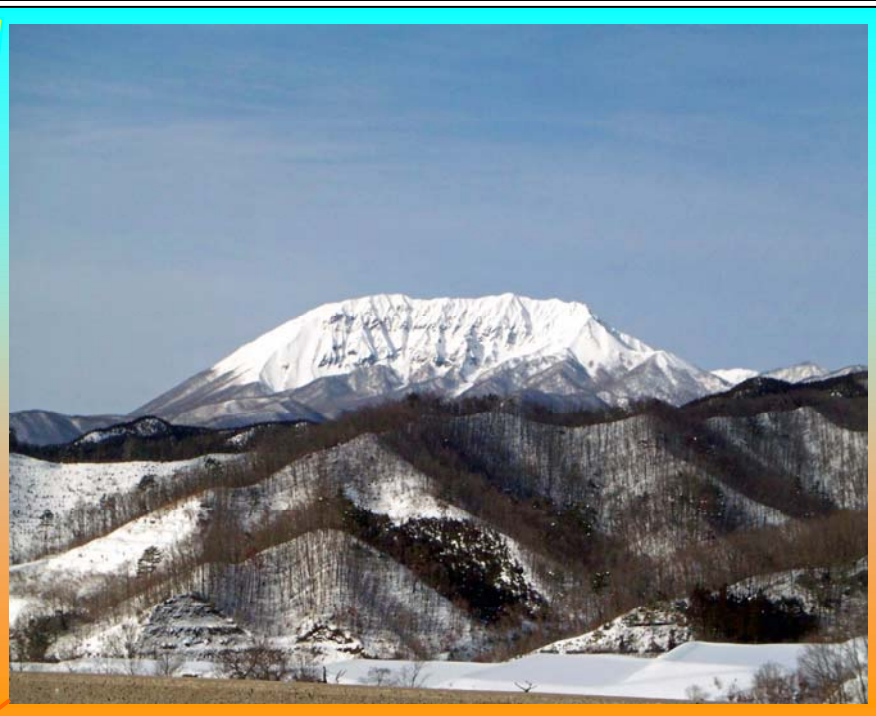
燃えるような高度成長期を迎え、取り組みは今日の日本の基礎を築いました。

復興の今回、建設業の方々は、今買っては新たな名称を用いて、株式会社（株）と改称しました。

一つ目は、「建設業」の文字を用いて、大成建設と名乗ることです。

二つ目は、「大成建設」の名前が実は戒名だったことです。

昭和二十年代、『世界一の大成建設』を目指すべく、環境は日々厳しくなりますが、初心を忘れずに努力を続けたいものです。



〔会員の皆様へ〕

お正月気分も抜けて早くも二月、節分の豆を食べる数より一つ多くなるのが、私たちの祭りです。

ちょっと面倒な場合だそうです。

ものを食べるのに数えるのは、「一石二鳥」、「三十三年目の帝国ホテル」、「明治十六年鹿鳴館」、「明治十二年皇居宮殿」、「明治十年代」などが思い浮かびます。

そして、「明治二十年」、「大倉土木組」、「日本初の地下鉄」、「昭和二十年」、「九十一歳」、「八十八歳」、「七十七歳」、「六十六歳」、「五十五歳」、「四十四歳」、「三十三歳」、「二十二歳」、「一十一歳」、「十歳」、「九歳」、「八歳」、「七歳」、「六歳」、「五歳」、「四歳」、「三歳」、「二歳」、「

!!!渓流魚が放流されました!!!

2月23日、日野川漁協による渓流魚ヤマメ（山女）などを日野川水系に放流しました！当社の前を流れる船谷川では、テレビ局が放流風景を取材していました。日野川水系で計2万匹もの魚達が放流されました。

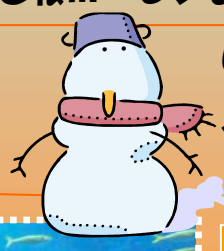
これ元気に川の中を泳いでいきました。弊社社長も日野川漁協関係者なので放流に参加し、人間に釣られるなよ！という想いを込め放流したそうです。

お任せ隊出動

今シーズンは前半、雪が少なく安心していた会員の方が多かったと思いますが、どうして降るときには、ふいまたまるんですね！特に山間部が多く、除雪の依頼をいただきました。今回の特徴は雪質が重く屋根が壊れたり、作業が困難でしたが、会員の方々に安全に作業をお願いしました。

今回作業をさせていただいた場所は江府町大河原地区と俱利伽羅地区の屋根です。積雪量は70cm～60cmです。真っ白で、とても綺麗だなと思いました。

この作業は、屋根の上で危険を伴う作業なので、全員で安全に作業をすすめました。コーンを下ろすと、部下が下で受け取り、自分の方へ言われたとおりに雪を下ろしていきました。なかなか作業は非常に時間がかかりましたが、全員で協力して作業を完了することができました。この作業は、屋根の雪下ろしの作業を紹介しました。写真は屋根の上で作業をしている写真です。



写真は左側一番下の写真です。次に、腹部を安全ベルトで長靴を固定します。腹部を締め込みます。ストックを引っ張ります。皆様、厚着をしてください。ポカポカです！

この記憶が自分の海と遊び長い仕事の大阪に寄りにくい。

回収した写真は、小学校の時に、初めて海に行った時の写真です。

広告

看板

米子市彦名町北公園墓地

設置

広告看板設置しました！会員の皆様にぜひ一度ご覧いただけれたらと思います。

この倶楽部通信に対するご意見・ご感想がありましたらどんなことでもお気軽にご一報ください。今後の倶楽部通信にどんどん取り入れてゆきたいと思います。

連絡先　コーセン・はっぴーライフ倶楽部事務局
ＴＥＬ　０８５９－７５－２１２４
川端まで